

令和2年度スマイルプランナー活動報告書等集計結果

令和4年1月 市民活動推進課

■登録者数（令和3年3月31日現在）

個人：208名（+48）（R1年度 個人：160名）
 団体：52団体（+1）（R1年度 団体：51団体）

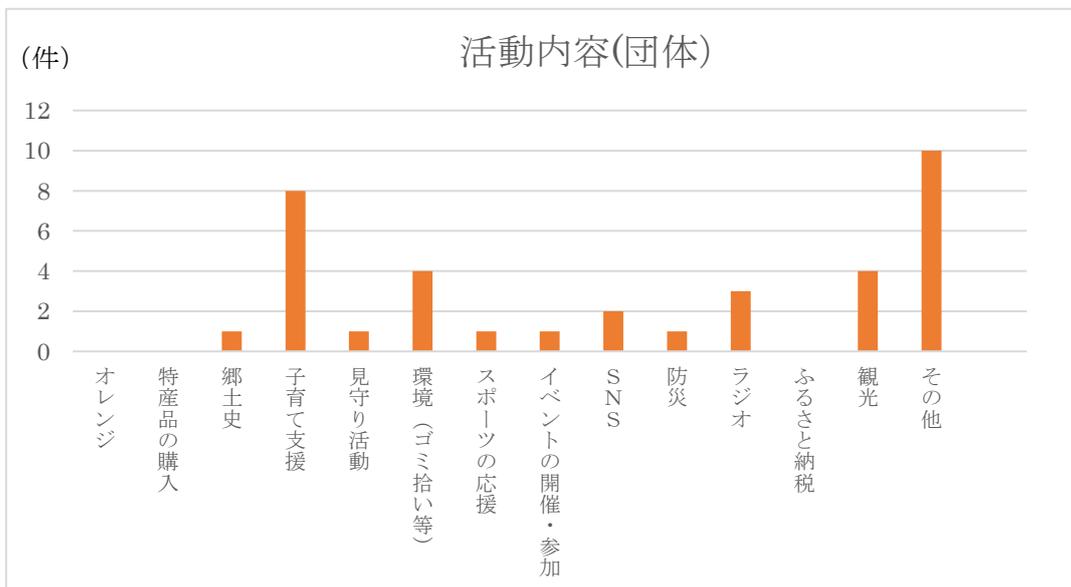
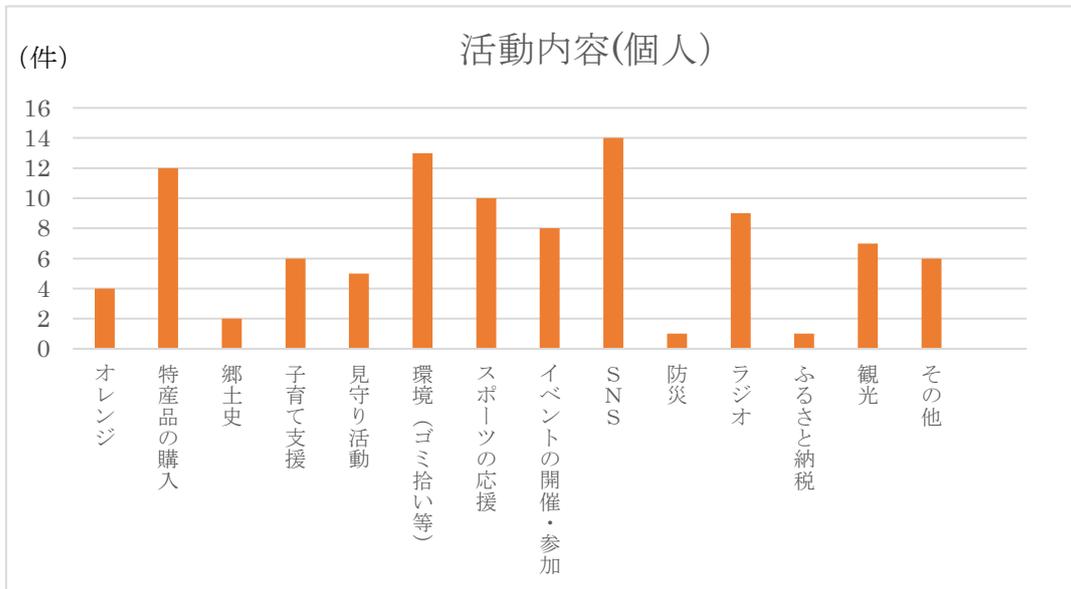
■報告書提出数

個人：68名（提出率32.6%）
 団体：34団体（提出率66.6%）

■アンケート提出数

個人：62名（提出率29.8%）
 団体：31団体（提出率60.7%）

■活動内容の集計結果（複数回答可）



■気づき、今後取り組みたいこと（抜粋）

【個人】

（気づき）

- ・行った（見た）気分になれるコンテンツの提供があるといい。
- ・定期的に、スマイルプランナーの活動を紹介したり、参加者（お手伝い）を募集したりする仕組みがあれば活動が活発になると思う。
- ・山陽小野田市には、まだまだ知らない場所やものがあると感じた。

（今後取り組みたいこと）

- ・ふるさと納税を利用したい。
- ・オンラインの検討。
- ・積極的に人と関わっていききたい。
- ・今後も継続して、ゴミ拾いをしていきたい。
- ・観光ガイドのスキルを身につけたい。
- ・レノファ山口を、今後も引き続き応援したい。
- ・SNS・ラジオでの情報発信。
- ・自分のできることを考えて行う。
- ・文化財、風景の良い所を知ってもらい、まちづくりにつなげていきたい。

【団体】

（気づき）

- ・高齢化で会員のモチベーション維持が難しい。

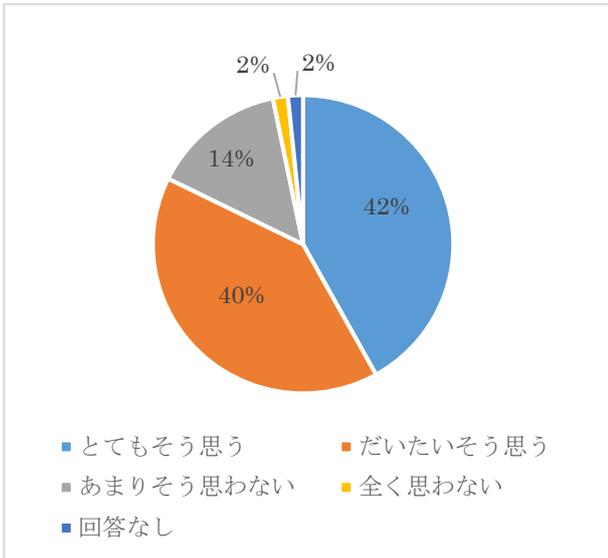
（今後取り組みたいこと）

- ・コロナ禍の中、少人数とはなるが、感染症対策をしっかりとした上で、地域の活性化につながるイベントには引き続き参加していきたい。
- ・現在の活動を継続しながら、活動をたくさんの市民に知っていただくよう、努力していきたい。
- ・令和2年度は、研修を中心に活動したが、次年度も更に練度を上げる予定。
- ・イベントを通じて、多くの人に防災に対する意識付けを図りたい。
- ・小さい子供にも伝わるものを作りたい。
- ・学生の皆さんに参加してもらえるコミュニティラジオを作りたい。
- ・人が出逢える場所を作りたい。
- ・オンライン化への転換を図るなど、できることを検討したい。
- ・イベント参加によるPRとSNSやオンラインによるPR、両者の強みを生かし、より幅広い層に本市の魅力を紹介していきたい。
- ・今後も、多くの親子が笑顔で子育てできるようにサポートしていきたい。
- ・地域スポーツ活動への参加、支援を通じて、普及・啓発活動に取り組みたい。
- ・一人でも多くの市民の情報を発信し、読者に届けたい。

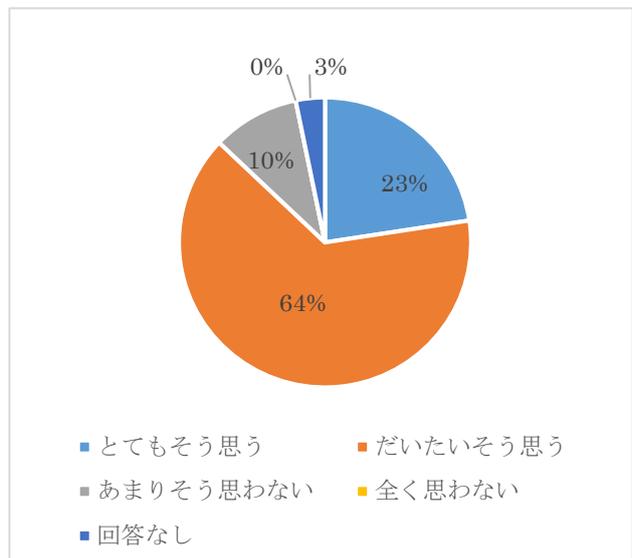
■スマイルプランナー制度に関するアンケート集計結果

Q 1. 「笑顔」を意識して活動ができましたか？

【個人（62名中）】

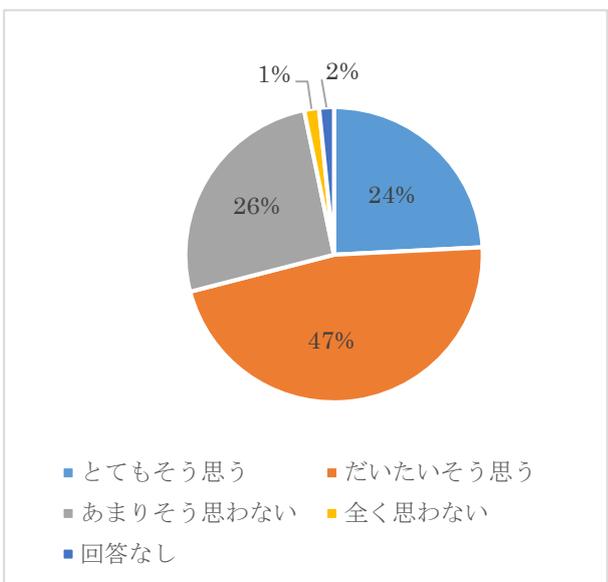


【団体（31団体中）】

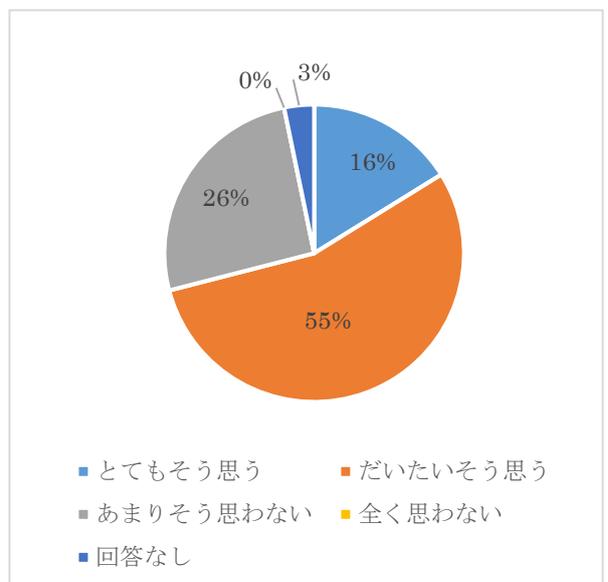


Q 2. 自分の身の回りで（自分自身も含めて）「笑顔」が増えたと思いますか？
（どれか一つに○）

【個人（62名中）】

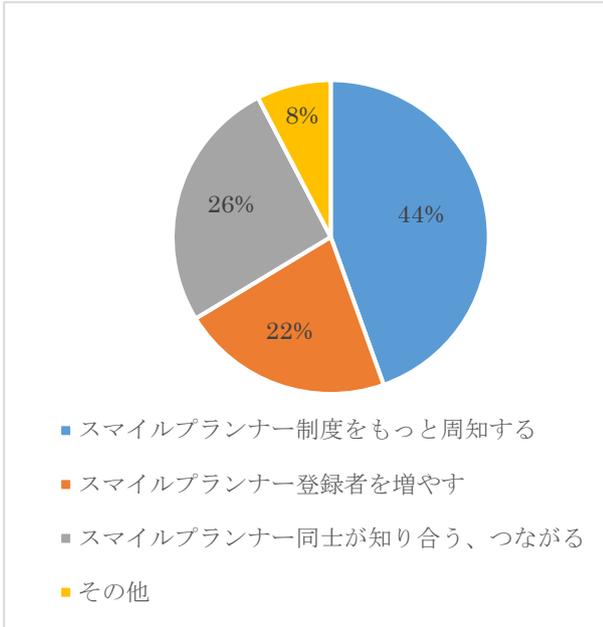


【団体（31団体中）】

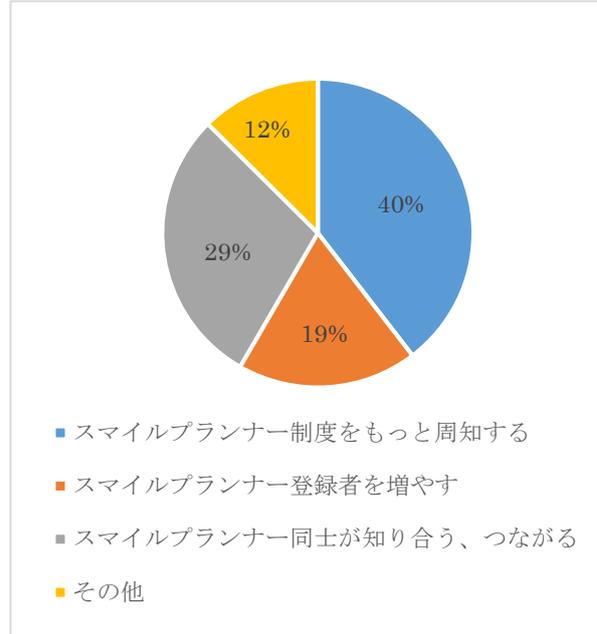


Q3. 笑顔をもっと広げるためには、どのようなことが必要だと思いますか？
 (複数回答可)

【個人 (62名中)】



【団体 (31団体中)】



その他の内容

- ・ 活動内容の共有も必要かと
- ・ スマイルプランナーの活用
- ・ 「あなたの身の回りの小さな「笑顔」の募集」などはいかがでしょう。
- ・ 実行できる場所を増やす。今はこれかな。
- ・ スマイルプランナーによるイベントを行ってみてはどうでしょう。プランナーになると参加できるとなるとまた登録者が増えそうです。
- ・ 笑顔のあいさつ運動的なこと
- ・ スマイルプランナー個々のさらなる積極的な活動が、笑顔という形でフィードバックされると思います。

その他の内容

- ・ 色々な業種のプランナーの名簿を作成し、つながる
- ・ 自分の団体でできることを行っていく
- ・ 各地で行われているイベント（マルシェなど）を市広報で告知する。
- ・ コロナワクチン接種を早急に実施する事

Q 4. 印象に残った「笑顔」に関するエピソードがあれば教えてください。(抜粋)

【個人】

- ・挨拶を互いに交わすときに「笑顔」に成る気持ちよさ！
- ・個人でやっていて、自分が笑顔になっているのでこれでいい。
- ・マスクをする生活が長く続き、今まで以上に笑顔を心掛けることが大切と感じている。
- ・卒業する子供達が言葉を添えた手作りノートをくれた事。
- ・令和2年度は（も）色々あったので、馬鹿な事を言っでは笑って（笑わせて）いた。
- ・笑顔は伝染する。いつも笑っている人のそばにいと、つられて笑顔になる。
- ・普段笑わない子を笑顔にすることができ、感謝された。
- ・音楽が人の支えになっていると感じたとき。
- ・好きなアーティストのライブに行ったとき
- ・スマイルプランナーになっている方のラジオを聞いたら自然と笑顔になる。
- ・試合を見に行った時に、久しぶりに勝った時の選手や応援している人たちの笑顔。
- ・小さな子どもが挨拶を返してくれたり、手を振ってくれたりした時嬉しくなった。
- ・桜の花がきれいに咲いていたり、新緑がきれいだったりして、季節を感じられた時。

【団体】

- ・入社拒否していた方が、働くことの喜びを感じるまで成長し、社長賞をもらったとき。
- ・中学生の皆さんが進んで手伝いをしてくれて、気持ち良い笑顔に大変癒された。
- ・お客様のみでなく、社員同士、納入業者に対しても笑顔で接する事とした。
- ・イベント実施時、参加者が笑顔を見せてくださること。
- ・中学校の生徒さんから、感謝され、贈り物と手紙をもらい、感激した。
- ・竜王山周辺をランニングし、きららビーチにゴールした時に、あまりの美しさに感激し笑顔になり、「山陽小野田いい所」と思った。
- ・子どもが成長していく姿を見られたとき。
- ・マスク装着をしていると表情がみえづらいが、子供が元気に挨拶をしてくれたりすると、こちらも笑顔と元気をもらえる。
- ・生きがいや夢を持った、前向きに生きている仲間がいる輪にいれること。
- ・お客様に元気になっていただいた時は、とても嬉しくこちらも自然と笑顔になった。

Q5. スマイルプランナー制度について、ご意見などがありましたらご記入ください。
(抜粋)

【個人】

- ・登録者数が少ないので、周知活動が必要。
- ・スマイルプランナーの自主性・主体性を尊重することも大切であるが、お任せではなく、更に活動が充実できるように後押しすることが大切である。
- ・スマイルプランナーの目指すべき「形」が見出せていない。
- ・イベントを実施してほしい。
- ・スマイルプランナーという言葉がピンと来ない。分かりやすい名前の方がいいと思う。
- ・イベント情報などを周知してほしい。
- ・スマイルプランナー同士ふれあう機会を増やしたい。
- ・イメージキャラクターを作り、デザイン、名前等を公募する。
- ・市内に住んでいる人たちに魅力が伝わってないのが残念だと思う。
- ・ビブスか腕章などがあれば、活動のPRができると思う。
- ・若い世代や子育て世代などをもっと取り込んでいきたい。
- ・スマイルプランナーが活躍でき、達成感を感じることができる環境作り（場所や人員の提供、広報等）の構築。
- ・登録者にメリットがあってもいいと思う。
- ・どんな方がスマイルプランナーに登録されているかを知りたい。
- ・フェイスブックでスマイルプランナー登録者のSNSでの投稿などを紹介するのはどうでしょうか。（スマイルプランナーの活動内容の投稿を紹介する）
- ・会員証を提示したら特典（サービス）が受けられると良い。

【団体】

- ・制度を周知し、登録者を増やしながら、その方々の活用方法を検討して欲しい。
- ・いつも通りの活動でよいのでしょうか。バッジだけもらって、よく分からない。
- ・地域活動という団体での活動において、どんなことができるのか。まだよく分からないので、具体的な活動内容を知りたい。
- ・市民同士の挨拶や労り、自主的な活動で笑顔のある絆の強い町にすること。

■今後の検討課題

- ・スマイルプランナー同士が交流できる場の提供。
- ・ホームページ・スマイルプランナーのフェイスブックを活用し、情報発信を強化。
- ・スマイルプランナーの団体と市民活動支援センターの登録団体との一本化を検討。
- ・電子申請の検討